

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	地域のつながり課長 曾根 健治		
市民-01	実施事業	自治会・町内会等支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	地域のつながり課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治	

1 事業の目的

対象	自治会・町内会等
意図	地域住民が自ら問題を解決し、まちづくりに主体的に取り組めるようにするため
効果	自治会・町内会等の主体的な活動によるまちづくりが行える

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

自治会・町内会が地区ごとに組織する連合会等の事業に対し、補助金を交付した。
自治会・町内会が所有する公会堂等の建築改良工事に対し、補助金を交付した。
自治会・町内会が賃借して利用している公会堂等の賃借料に対し、補助金を交付した。
地域住民の福祉の増進に貢献するとともに、当該団体の育成に尽力した自治町内会長及び役員を表彰した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2019年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	145,454人	事業の対象者数	142,169人	
運営資源状況	決算値(千円)	12,250	当初予算(千円)	17,820	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	2,511	その他	11	
	一般財源	9,739	一般財源	17,809	
	人員配置数	2.5	人員配置数	2.5	
事業経費運営	総事業費(千円)	31,940	総事業費(千円)	39,243	
	市民1人当りの経費(円)	181	市民1人当りの経費(円)	222	
	対象者1人当りの経費(円)	220	対象者1人当りの経費(円)	266	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input checked="" type="radio"/> -2. 適正な受益者負担を導入している
		<input type="radio"/> -1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input checked="" type="radio"/> 協働実施済の場合のパートナー 自治会町内会等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	自治会・町内会等が所有する公会堂等は、老朽化が進んでおり、建替えや修繕の要望は、今後も増加が見込まれるが、緊急性等を考慮しながら、補助事業を継続していく。 (一財)自治総合センターのコミュニティセンター助成事業の活用や自治会・町内会が公会堂等の用地として有償で借りている土地・建物の賃借料の補助事業を継続していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
総評(評価に対する考え方、根拠等)	自治会・町内会は、防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、今後も引き続き支援を続けていく必要がある。さらに地域コミュニティの活性化を進めるため、地域の自立した活動を支援していく。				

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・公会堂等の老朽化に伴い、修繕等の要望が多くなっているが、予算の範囲で補助を行っているため、緊急性を考慮しながら進める必要がある。 ・公会堂等の土地や建物を民間等から有償で賃借している自治会・町内会もあり、活動の負担となっている。 ・自治会・町内会が抱えている課題が多様化しており、解決に向けた対応が求められている。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、公会堂等の改築工事や修繕の要望があつたすべての自治会・町内会に対して補助を行った。 ・自治会・町内会に対し、公会堂等の用地として有償で借りている土地・建物の賃借料の補助を行った。 ・自治会・町内会と市民活動団体との交流や30～40代の市民等を対象とした交流会を実施した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	自治会・町内会の高齢化や、役員の成り手不足などの課題は、短期的に解決できるものではなく、継続的な支援や取り組みが必要となる。また、コロナウイルス感染症の拡大に伴い、情報伝達手段のIT化が新たな課題となっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	公会堂等建築改良工事補助割合及び上限額(円)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	50%	50%	50%	60%	補助制度なし				
	10,000,000	10,000,000	12,000,000	10,000,000					

比較事項	公会堂等建築改良工事件数(新築・建替え)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	1件	1件	0件	0件					

比較事項	公会堂等建築改良工事件数(修繕・増改築)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	13件	20件	7件	9件					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公会堂等の建築改良工事については、補助割合及び上限額において近隣市と概ね均衡がとれている。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	自治会・町内会加入率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
自治会・町内会は、地域コミュニティの基礎的団体で支援の主たる対象であるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績値	83.2%	83.1%	83.5%	83.3%	82.5%	81.6%
	達成率	97.9%	97.8%	98.2%	98.0%	97.1%	96.0%

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	自治会・町内会は、防災・防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、加入率が高いほど地域の合意形成が図れるため、より一層の加入率を高めていく必要がある。
-----------------------	--